

# 令和8年度 第5回まちづくりふれあい懇談会記録書

- 1 日 時 令和8年8月6日（木）午後6時30分～7時57分（87分）
- 2 場 所 エコーセンター 大会議室
- 3 出席者 一般出席者 28人  
網走市出席者 10人（市長、教育長、  
企画総務部長、建設港湾部長、  
市民環境部長、観光商工部長、学校教育部長、  
学校教育課参事、企画調整課長、広報広聴係長）  
町連等出席者 2人（会長、社会福祉協議会職員）  
計 40人
- 4 議事進行 社会福祉協議会職員
- 5 進行記録  
18:30 開会  
18:30 市長あいさつ  
18:34 町連会長あいさつ  
18:37 テーマ(1)小中学校の適正規模・適正配置の検討について  
19:20 テーマ(2)太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する  
ガイドラインの策定について  
19:26 テーマ(3)どこバスについて  
19:37 その他  
19:55 市長あいさつ  
19:57 閉会

## 6 質疑など

### 【テーマ（１）小中学校の適正規模・適正配置の検討について】

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ▼参加者     | 小規模特認校は、どのくらいの生徒数の想定か。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| （学校教育部長） | <p>現在、呼人小中学校を小規模特認校として設置しており、生徒数は2～30人。</p> <p>市としては、1校設置したいと考えているが、今ある呼人にするか、市街に設置するかはまだ決まっていない。</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| ▼参加者     | <p>今後の進め方について、地域と共にある学校作りを目指す、と説明がされた。</p> <p>皆さんの意見を聞いて十分検討する、計画を決めていくとのことだが、基本計画策定までの時間が少ない、住民の意見を十分反映させるにはあまりにも早いのではと思う。</p> <p>昨年度の不登校児童が35万人、小中学生の自殺者が過去最高を記録した。</p> <p>学校教育の大きな問題点が全国的にあると思う。</p> <p>そういう中で今回の提案のように、これまでの学校教育をそのまま続けた形ではなく、これまでの教育をもう一度原点に立ち戻って考え直していくっていうことが必要ではないか、ゆっくり時間をかけて考えていく必要があると思うが、いかがか。</p> |
| （学校教育部長） | <p>意見を聞く会により、市民の皆さんの意見を聞いていきたい。</p> <p>計画案は今年度中に策定する形で進めている。</p> <p>策定にあたって、様々な意見を取り入れるために、アンケート等を取り組んでいきたいと考えている。</p>                                                                                                                                                                                                         |
| ▼参加者     | 校舎の改修に337億円かかるとあったが、国の補助金や地方交付税措置が取られて、実際にはもっと少ない負担になると思う。具体的な資料があれば早急に提示していただきたい。                                                                                                                                                                                                                                             |
| （学校教育部長） | <p>337億円は総事業費であり、各年度の事業費を積み上げたものの。</p> <p>国の補助金交付や地方債、地方交付税で戻ってくる部分もあるが、新築した場合はいくらか、改築した場合はいくらか、という話も検討協議会の中で出されているので、時期を見て費用に関しても市ホームページの公開を考えている。</p>                                                                                                                                                                        |

補助金については、事業費に2分の1や3分の1を掛けるということではなく、補助の単価が決まっており、RC造でいけば平米あたり40万円等と国の上限補助単価が決まっているので、単純に、9億の3分の1で3億を国からいただける、というようなものではないので、ご理解いただきたい。

▼参加者

近所のお子さんを持つお母さんから不安の声を聞いた。  
小中一貫で9年間で卒業という案が出ているが、小学生は6年生になると、学校の中の1番年長だという自覚が強くなり1年生の面倒を見る、中学校入学時は、新たに中学校に入ると新鮮な気持ちで学校に行く等、子どもの成長の過程で小学校6年間、中学校3年間というのは貴重な体験とのこと。  
昔の自分も、そういうことがあったと感じている。  
なぜ急に小中一貫にするのか気になった。

また、高齢になってくると、災害時の避難場所として真っ先に近くの学校を思い浮かべるが、統廃合で学校が3つしかなくなると非常に不安。  
防災マップでは、各学校が避難所になっているので、その点も考えていただきたい。

(学校教育部長)

8月26日の午前10時からエコーセンターで、託児付きの意見を聞く会を実施する。  
活用していただければ直接お話ができるので、ご意見のあった方にお伝えいただければと思う。

小中一貫9年間の考え方だが、小学校を卒業して中学校に上がっていく子供の成長過程はおっしゃる通りだと思う。  
ただ、教育委員会としては、9年間を一体的に学ぶというところを1つとして考えており、今までは小学校、中学校別々だが、中学校の教員が入ることで、より専門的な教育を小学校から触れられ、小学校から中学校に上がる際のギャップを回避できることもある。  
一方で小学校6年生の卒業式はなくなってしまうが、それに変わるものは、学校で色々な形を考えられるかと思う。  
教育委員会の見解としては、9年間の取り組みとして進めていきたいと思っている。  
他の自治体でも義務教育学校を9年間、小学校中学校一貫で行う学校が増えている状況なので、ご理解をいただければと思う。

(企画総務部長)

教育委員会から、子供たちの教育をどうすべきか、少子化時代の中で学校をどう維持していくべきかという話をさせていただいている。

協議会を立ち上げ、色々のご意見頂いてるところだが、示した案で確定ということではなく、学校が減ると避難所をどうするか、という話が出てくる。

337億円の予算がかかるということで、お金をかけて学校を残すのがいいか、どの程度学校数をみるか、具体的なスケジュールはいつになるのか、コミセンなどの他の代替施設の状況等、事情は地域で様々であり、防災の観点から一定規模の避難所は設置しなければいけないが、まだ検討していない。

まずは子供たちの教育現場をどうしていくかを議論いただき、その後、防災の観点からどれを残すべきか、様々ご意見があると思うので、学校のあり方がある程度目処が立った段階で、防災の観点、それから、児童館の観点も含め、再度、地域の皆さんと話をしながら進めていきたい。

▼参加者

学校再編の考えについては、市が立てたものか。それとも文部科学省からこうしなさいと言われて出たものか。

網走市が考えていたのであれば、もう何年も前から市民に声がかかるのではと思う。

小規模学校で頑張ってる先生がたくさんいる。

先生方の意見や、児童会、PTA、各学校の意見も聞いて、まとめられているものがあればお知らせしてほしい。

人口が減るので学校を少なくというのも分かるが、全国的な人口減少の中で、中心街に役場や住宅、インフラを集めて、お金のかからない方向に頑張っている自治体もある。

網走の場合は山や坂がある広域なまちで、1日1時間バスに乗っている生徒もいる。

後でどこバスの話もすると思うが、台数を増やしてほしいという声があっても運転手がない。

学校再編で子どもがちゃんと通学できるのか、現実考えたことがあるのか教えてほしい。

(学校教育部長)

3校に決まったということではなく、検討協議会の中で議論を深めて、何校にしていくかを決めていくところ。

去年の12月に基本的考え方を教育委員会でまとめて、各学校にお話をさせていただき、PTAの役員や学校運営協議会が集まる場の中で、お伝えをさせていただいた。

その後、意見を聞く会で皆さん方の意見を伺っている状況。

通学については、実際に、今郊外地域でスクールバスが走っており、40～50分の通学時間がかかっている生徒もいる状況。

例えば市内に統合をした場合、今と同じような形でスクールバスを回すと当然1時間以上かかってしまうので、今の運行体制

を変えながらやらなければ無理だと考えている。

バス業者とも、市の考えについて意見交換などはさせていただいている状況。

▼参加者

初めの話に戻るが、なぜ小規模校ではダメなのか。

(学校教育部長)

小規模校がダメだとは言っておらず、小規模校には小規模校の良さがある。

教育委員会としては、小中学校9年間の一貫教育を目指したいということ、学級に一定規模の人数がいることで主体的、対話的で深い学びができるのではないかな。これからの未来を築いていく子供たちに、予測困難なことも自らが解決していけるような子供たちを育てていきたい。

小規模校だからできないというようなことではないが、ある一定数の子どもたちがクラスの中にいる方がいいのではないかなという考え。

▼参加者

先程の発言は、昨年12月の議論の前がどういう経過で始まったのか、ということを知りたいのではと思った。

(学校教育部長)

子どもの数が減っていること、施設が老朽化していることを念頭においたとき、14校を維持すると30年間で300億の予算がかかるので、子どもたちにとってより良い教育環境を考えると、やはり学校を再編していくべきではないかということで議論をしたところ。

市の案としては、義務教育学校2校と小規模特認校1校というような形で考えており、学校検討協議会の中で皆さんと色々と議論を進めて、学校のあるべき姿を決めていきたいと考えている。

▼参加者

令和5年3月に出された公共施設総合管理計画で、子育て支援施設の整備方針に、少子化で利用者の減少が見込まれるため将来的に施設が過大にならないよう検討を進めながら、一方で少子化対策として子育て世帯への支援を充実する取り組みを進める、という内容が書かれてあった。

児童センターや児童館については、学校施設や既存施設または新たに建設する施設への拠点集約を基本に検討を進めると書かれていた。

(企画総務部長)

施設と総合管理計画は、こちらで担当しており、学校だけでなく、全ての公共施設、道路、庁舎も含めてどうしていくかとしたもの。

現状としては、過大な施設が将来的に出てきて、建て直そうとすると、無理な建設費や、財政状況的に到底賄えないきれいな予算が必要になる。そこで考えているのが、既存の施設を建て替える場合は面積を3割縮小して建てることとし、例として市庁舎はかなりコンパクトに作った。

また、保健センターもこども発達支援センターにリニューアルして使っている。

学校教育についても、子どもの数が減る中で、文部科学省所管の学校と厚生労働省所管の児童館とあり、当時、見直しができないか進めてきたが、さらに少子化が進み、限界が来ているということで、財政議論ではなく、子どもたちの教育現場は本来どうあるべきか説明をしながら市民の皆さんのお話を意見をいただき、検討協議会の方で取りまとめを進めている。

▼参加者

学校の適正配置についてはあくまで案であり、これから色々変わっていく可能性があるということかもしれないが、2028年にはもう西小と中央小が統合されることが案として出ている。

そこまでもう2年を切ってるのに、まだ何も決まっていない、検討していく、では保護者も不安だと思う。

今の4年生以下の子供たちが実際に統廃合に関わる。

これから検討、で仕方ないのは分かるが、もう少し具体的にどうなっていくかを示していただきたい。

また、小学生の交流事業をこれから検討するのであれば、不安になっている子どもたちのために丁寧に進めていっていただきたい。時間がないので早急に進めていただきたいと思う。

(学校教育部長)

決まったわけではないというのが大前提であり、2028年の西小学校、中央小学校への統合も決まりではないが、学校施設の給食調理場はだいぶ老朽化しており、できるだけ取り組んでいきたいと考えている。

計画ができて、統合まで1年しかないとなれば、それは現実的な話ではないので、スケジュール感については議論が必要。子供たちの統合に係る不安は不拭していかなければならないと考えている。

交流についても、早い時期から進めていかなければならないと考えている。

---

【テーマ（２）太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する  
ガイドラインの策定について】

（質問意見なし）

---

【テーマ（３）どこバスについて】

|          |                                                                                          |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| ▼参加者     | 子どもの定期券の料金設定がないが、今後作る予定はないか。<br>子どもの習い事の送迎で使いたいと思っている。                                   |
| （観光商工部長） | 現在、子ども料金の定期は設定されておらず、一般と同じ料金<br>となっているので、今後の検討課題とさせていただきたい。                              |
| ▼参加者     | どこバスというネーミングがいかがかと思う。網走シティバス<br>などおしゃれな名前にしてはどうか。                                        |
| （観光商工部長） | ご意見として受け止める。どこバスは令和2年度から実証を始<br>め、令和5年度に本格運行し、市民にもだいぶ浸透しており、<br>現状のままでいきたいと網走バスとも話をしている。 |

---

【その他】

|          |                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ▼参加者     | 先日から中央病院の通りと、橋方面に向かって電線の地中化の<br>工事が進んでいると思うが、それについて説明会があった。<br>主体が網走開発建設部で、景観が綺麗になり、生活が良くなる<br>ような感じの説明を聞き、沿線の住民の金銭的負担を質問する<br>と、個人的な負担はないと聞いたが、今年になって建物によっ<br>て受益者負担があるような話を聞いている。<br>説明会には、市の職員も参加されていたと聞いたが、それにつ<br>いて流れをお聞きしたい。     |
| （建設港湾部長） | お話いただいた工事については、国と北海道で整理をさせて<br>いただいている。<br>市も一緒に説明会にも参加させていただいており、都市整備課<br>が窓口となっているが、事業の細かい部分、お話いただいた当<br>初の説明会の中で個人の負担がなかったが、今になって負担が<br>かかる等の詳細については承知していない。<br>1点聞いているのは、無電柱化の電気に関わらない施設が元々<br>の歩道にあり、その移設のために費用がかかるという点は聞<br>いている。 |

電気にかかる負担があるかどうかについては、開発や北海道の方に確認したいと思う。

不安な方がいらっしゃるという声なので、そこについても開発と一緒に、丁寧に説明をさせていただきたいと思う。

▼参加者

令和5年1月の説明会しか話を聞く機会がなく、関係町内会に色々聞いていると、個別に業者の方が交渉しているという話が出ている。

工事に行き、建物にヒビが入った、影響があった場合のために写真を撮るなどしており、沿線の皆さんが同じ状況になっているかと思う。

疑問や納得いかないことを色々聞いているので、十分な説明が必要だと思う。

関係する方が出ているようなので、具体的な話を教えてもらえればと思う。

▼参加者

2年ほど前から、開発建設部の方が1度に4、5人来て、高圧ケーブルを移設するのに、300万円から500万円、それ以上かかるかもしれない、1000万円、1500万円かもしれないと2年間ずっと何人も何回も来られている。

工事内容を教えていただけますかと話すと、分からないと言う。

北見の業者が工事内容が分かるので、請求書をもらい払ってくださいと言われる。

工事内容を開発が分かっているわけじゃないのに、工事内容をなぜ電気会社が決めるのか。

何百万もかかるというので、国に電話かけていくらかかるかを聞くと8万と言われたので、詐欺と思い電話したら、開発の職員につながった。

国のガイドラインを見ると、開発が保証できるものであり、個人の負担はなく、負担する必要のないもの払わされそうになったので、開発の方を呼んで「どういうことか。払ってしまったら開発がお金を負担するのか」を聞くと、できないと言われた。

2年間、開発職員が4人、5人と来て嘘をつかれたことにびっくりしている。

また、つい最近5月ぐらいにまたお金がかかると説明があり、ケーブルを民地に引き込む必要があり、敷地内は地権者で払わなくてはいけず、300万かかると言われた。

自分で調べたところ8万ぐらいと出てきて、やり取りをした後に音信不通となった。

沿線の方に民地引き込みに同意書が必要であり、近隣住民に聞

きに行ったら、誰も同意書に同意してないことがわかった。  
水道管工事の話も出て、地質調査を求めると必要ないと言われ  
根拠がわからず、その後、相手が音信不通になって何度も担当  
者が変わり困っている。

太陽光発電のときも言ったが、住民周知が全然されてないと思  
う。

こんな風に学校の議論も進まないか。

引き込み増設について、かかるお金の説明が十分にされず、デ  
メリットを言わないのは問題だと思う。

(建設港湾部長)

今のお話を聞き、同じ行政として、網走市の事業ではないが、  
開発局の事業で市民の方が不安に思われてたということは大  
変申し訳ないと思っている。

今のお話については、早急に開発局と共有し、今までの話と  
今後の対応について、網走市も担当が入りながらしていたが、  
もう一步踏み込んで連携を取って、お話させていただく。

▼参加者

もうすでに市役所の担当の方が2度来ている。

これで進められたら困るし、説明もデタラメだった。

自分以外にこんな高額な工事を了承したところがあるかメー  
ルで聞くと、了承していないのは自分だけ、他は了承した、と  
返信があった。

その後の話し合いの時に、自分以外どこがあるか聞くと、自分  
以外ありませんと言われ、嘘をつかれた。

市役所は開発に任せるだけでなく、市で進めているものな  
ので、責任を持って進めてもらいたい。

(建設港湾部長)

市の職員が関わっていながら丁寧な説明に至っておらず大変  
申し訳ない。

明日、開発と打ち合わせし、早急に対応させていただく。